

市税などの見通し

岡部 純朗（愛・桐生）

質問 平成二十一年度の税収見込みと今後の地方交付税の見通しは。

答弁 税収見込みについては、現在積算中であるが、十一月末における調定額を前年度と比較すると、法人市民税が約三億二千二百万円の減、個人市民税が約三億四千四百万円の減、市税全体で約九億六百万円の減となっている。また、地方交付税については、国の今年度予算における約三兆円



（桐生市役所）

の財源不足が第二次補正予算により補てんされる旨の閣議決定もすでに行われており、来年度も大幅削減はないものと期待している。

退職職員の再雇用

庭山 由紀（無党派）

質問 国の「天下り」と同様に退職職員を非公募で



（桐生市役所）

優先的に再雇用するのでなく、民間の有能な人材を平等、公平に活用すべきでは。
答弁 市が行っている再就職支援が「天下り」と同様であるとは考えていない。
質問 国家公務員の「天下り」の給料より安いから「天下り」ではないと考えるのか。社会経済状況が悪化する中、給料、期末手当、退職金などほかに、優先的に再雇用までもが退職職員に保証されることに市民の理解は得られないと思う。
答弁 再雇用の給料についてそのような認識はない。

みどり市との連携

福島 賢一（新政会）

質問 桐生市とみどり市が共通の理念に基づいて、将来を見据えたまちづくりを推進していくために、「桐生・みどり都市形成検討会議」というようなものを設立してはどうか。

答弁 現在、両市の一体感や合併に向けた機運の醸成を図るために各種連携交流事業を推進しているところであるが、そこからさらに一歩前進するための検討会議設立という提案の趣旨



（桐生・みどり連携推進市長会議）

を踏まえながら、今後、桐生・みどり連携推進市長会議の中で、より大きな意味でのまちづくりの推進に関する検討も行っていきたい。

桐生川の水の活用

河原井 始（クラブC）

質問 「おいしい水」の要件についてどう考えるか。

（上菱浄水場）



答弁 過去に厚生省が設置した「おいしい水研究会」により示された七項目の数値基準が一つの目安になる。

桐生川を水源とする水道水は、すべての項目においてその基準を満たしている。
質問 水道施設の最適配置や老朽化への対応などが課題となっている中、（仮称）梅田浄水場の建設をどのように考えているか。

答弁 水道事業の将来を担う重要な施策と考えられる新たな浄水場建設に向けて、来年度にはプロジェクトチームを設置する予定である。

飲食店創業塾

小野田 淳一（愛・桐生）

質問 事業の概要と今後の支援方針は。

答弁 飲食店開業を目標とする三十五人を対象に、十月から十一月にかけての七週間、毎週土曜日に講義を開いたところ約十人の受講者が一年以内に市内で開業したいとの意向を示している。

今後とも市内の空き店舗情報提供や融資制度紹介など、受講者への支援に努めたい。
質問 新たな飲食店と既存店の共存のあり方は。

答弁 新たな店舗の開業に伴い、まち全体にぎわいが創出されれば、既存店にもその効果が相乗的に波及するものと期待している。



（飲食店創業塾）

国保制度の改善

津布久 博人（日本共産党）

質問 児童福祉法には、「児童に関する法令の施行にあたって、常に尊重」すべき原理として、「国及び地方公共団体は、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う」という規定が設けられている。親の国保税滞納を理由に五十二人も

の高校生が「無保険状態」となっている現状は、同法の規定に反していないか。

答弁 滞納世帯への資格証明書の交付は国民健康保

険法に基づき行っている措置であるが、救済措置拡大の方針を固めている国の動向も注視しながら、より良い方向を検討していきたい。

（国保の資格証明書）



平成二十二年予算編成

石井 秀子（新政会）

質問 国の政策変更に対応できる職員の育成

（職員研修）



と組織全体の意欲向上に向けた取り組みは。

答弁 個々の職員の意識と能力を高め、それらをも

有機的に機能させることができ職場の環境や組織体制が

求められる中、十月には予算編成に向けた庁内説明会

を開催し、国の動向などに関する意識の醸成を図った。

質問 事務事業評価の結果を市民にわかりやすく周知できる手法として、事業

仕分けを導入する考えは。

答弁 事業仕分けの手法を分析した上で、第三者評価制度の導入を検討したい。

清掃センター周辺対策

関根 幸夫（新政会）

質問 施設周辺の悪臭・騒音・振動の測定と結果は。

答弁 地下水水質検査と同様に地元対策委員会との協定書に基づき年一回検査を実施しており、その結果については同委員会に報告し、承認を得ている。いずれも法令に基づく規制基準よりも厳しいものとなっている同センターの施設管理値を十分にクリアしている。

質問 ダイオキシンの類の検査結果等について、報告



資料だけでなく、地元住民を対象としてわかりやすい講演を実施する考えは。

答弁 地元対策委員会と協議し、検討していきたい。（桐生市清掃センター）

市立幼稚園の運営

森山 享大（愛・桐生）

質問 みどり市や太田市など、近隣自治体の多くの

（市内の幼稚園）



市立幼稚園で預かり保育が実施されている状況を踏まえ、桐生市でもその早期導入を行うべきではないか。

答弁 家庭との緊密な連携のあり方などを踏まえながら、今後、積極的に検討を進めていきたい。

質問 近隣の多くの市で幼稚園の給食が週五日実施されているのに対し、桐生市の給食日数は週二日となっている。サービス格差は正という観点からもその日数を増やすべきではないか。

答弁 今後、前向きに検討したい。

まちづくりと公共交通

笹井 重俊（日本共産党）

質問 市内を通る四つの鉄道とおりひめバスを活用し、富山市のように都市整備と公共交通を密接に連動させるべきではないか。

答弁 鉄道やバスなどは高齢者に必要な移動手段であり、コンパクトなまちづくりに向けてもその充実が必要不可欠である。まちづくりとの連動を前提に関係部局と研究していきたい。

質問 そのために積極的な施策が必要ではないか。

（おりひめバス）



答弁 鉄道会社への要望活動などを通じ、利用者の利便性向上に取り組みとともにノンステップバス購入の努力も続けていきたい。

イノシシ駆除対策

周東 照二（公明クラブ）

質問 イノシシ出没情報の発信や「駆除協力隊」の

（捕獲されたイノシシ）



結成に向けた取り組みは。

答弁 今年度の捕獲頭数は三年前の過去最高記録に迫る勢いとなっている。また、猟友会員の高齢化による会員数の減少など将来の有害鳥獣対策が危惧される。

今後は市ホームページを活用し、イノシシの出没情報を周知することにより、市民の理解と関心を深め、電気柵による自主防除や、「イノシシ駆除協力隊」のように、市民が主体となったシステムづくりなど、被害防止に向け、あらゆる施策を検討していきたい。

新エネルギービジョン

新井 達夫（新政会）

質問 バイオマスなど新エネルギー資源の有効活用は、環境問題や地域産業の活性化などの観点からも必要だが、バイオマス工場の誘致などの考えや補助金の確保をどう考えているか。

答弁 木質バイオマス工場の誘致は、林業経営や地域の活性化、雇用の創出など大いに期待できる。また、森林資源を活用した林業、木材産業など地域産業の再生を図るために実施するバ

イオマス利用施設の整備は、国などの補助金の活用が可能になるので、市内に工場建設を計画している企業があれば協力していきたい。（木質バイオマス燃料）



中通り大橋線

福田 光雄（新政会）

質問 中通り大橋線を北関東自動車道太田藪塚インターにアクセスする計画や市内を通って梅田町から日光へ行く観光道路として整備していく考えはあるか。

答弁 中通り大橋線の延伸について、太田藪塚インターへの接続は、桐生市と太田市の都市計画マスタープランにおいて将来構想として位置付けており、梅田町から日光市への道路は、みどり市と県道沢入桐生線

開設促進同盟会を設立して整備促進活動に取り組んでいる。今後とも延伸計画実現に向けて関係機関に働きかけを行っていききたい。（開通間近の中通り大橋線）



中小企業の仕事確保

中田 米蔵（日本共産党）

質問 官公需発注の増大など、中小企業支援に向けた取り組みは。

答弁 官公需の発注にあたっては、市内企業への優先発注という方針に沿ってできる限り分離・分割発注を適用するよう心がけている。また、平成二十年からは、「一抜け方式」による入札なども実施する中で、業者の受注機会を増やすことができるよう工夫している。また、金融面からの支援策

（桐生市役所）



まちづくり市民会議

寺口 正宣（公明クラブ）

質問 市民参加による二年間にわたる討論を経て提出された提言書の内容を市の政策にどう反映させるか。

答弁 平成二十一年六月に提出された提言書には、繊維産業の産業観光化や新たな市民参加のあり方に関する提言が盛り込まれている。今後、提言の趣旨の具現化に努めていきたい。

質問 提言書には「第一期」という記載があるが、今後、第二期以降の会議を

開催する考えはあるか。
答弁 市民参加による貴重な会議であることから、第一期の実績を踏まえた上で今後も設置していきたい。（まちづくり市民会議）



主 な 議 案

○桐生市認可地縁団体印鑑条例案

可決

概要

地方自治法の規定にもとづき市長の認可を受けた地縁団体代表者などの印鑑の登録及び証明に関する事務手続きなどについて必要な事項を定めようとするもの。

○指定管理者の指定について（桐生市黒保根高齢者生活支援施設）

可決

概要

桐生市黒保根高齢者生活支援施設の指定管理者として、社会福祉法人泰和会を指定しようとするもの。

一般会計予算の補正

◎平成21年度桐生市一般会計補正予算（第9号）

可決

概要

歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ2億9,514万4,000円を増額補正して、予算総額を469億8,017万1,000円とするもの。

歳出予算の主な補正内容

- 企画費軌道交通対策事業 1,705万円の増額（わたらせ渓谷線運行維持費補助金の増額）
- 民間保育所費 3,687万6,000円の増額（保育運営費3,832万2,000円の増額など）
- 扶助費（生活保護費）2億7,507万4,000円の増額
- 予防接種費 4,308万8,000円の増額（新型インフルエンザワクチン接種に係る負担金及び交付金の追加）
- 林業振興費林道補修事業 2,675万円の増額（林道新設改良工事費2,552万6,000円の追加など）
- 特別職及び一般職人件費 1,743万5,000円の減額（条例改正及び人事異動等に伴うもの）